

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000201
事業所名	グループホーム一色

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域交流を大切に、徒歩や車いすで状況や体調、天候等を考慮しながら種々のコースを散歩するのが日課だったが、コロナ感染症感染防止の観点から難しく、例年回覧板で地域情報を得て参加の行事もほとんど中止、ボランティア等の来訪もなく、双方に交流ができなかった。中学で開催の「敬老会」に対象者が徒歩や車いす、車でのピストンと各々の方法で参加し、記念品を受け取ったのが唯一の交流だった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2か月毎に年6回開催を計画したが、会議自粛要請で3回の開催となり、目標達成計画にあげた参加メンバーの拡充も今年度は実現が難しかった。開催時には民生委員や町内会長の参加が得られ施設の現状を伝え意見交換している。町内会長の質問には丁寧に様子を説明し、ホームへの理解や支援の協力を繋げている。今後家族への議事録配布や会議内容等の見直しでより一層有意義な会議にしていきたいと考えている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 利用者には生活保護の方もあり、その手続きや書類提出等で区役所担当課に出向き、様子を伝え、情報交換している。困難事例を相談したこともあり、協力関係が築かれている。今まで職員の情報交換の場でもあった市や社協開催の研修はオンライン開催が主となり、今年度は参加が難しかった。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会自粛要請により、施設は体調の変化も含め何かあれば都度電話連絡を入れており、合わせて意見や要望、意向を把握しながら信頼関係の継続に努めている。ショートメールを使用することもあるが、lineは現在使用していない。個人情報保護の面から集合写真の撮影が難しく、行事の際の個人写真を季節ごとのあいさつ文とともに添付・郵送し「ホームだより」としている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	○	×	×	×	○	○	○	×
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										

備考欄

--